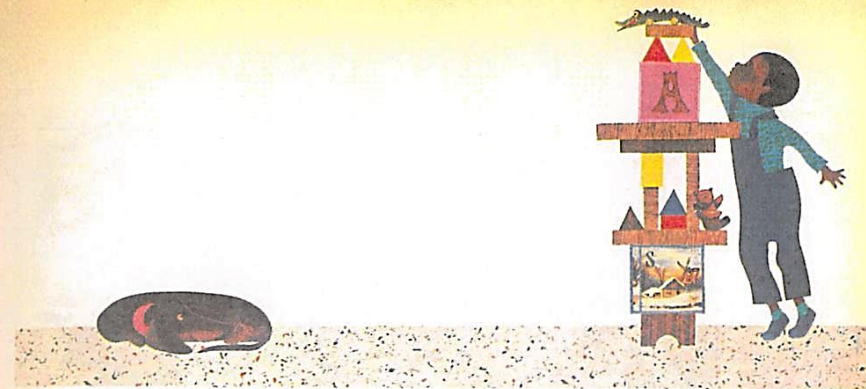




8

ピーターの いす

1 ピーターは、ううんと せ
のびした。

2 そらっ、つみ木の ビルが、
できあがり。

3 ガシヤン。

4 いっぺんに、ぶっこわれた。
「しいいっ。」

と、おかあさんの こえ。



「もっと、しずかに あそんでね。う
ちには、生まれたての 赤ちゃんが
いるのよ。」

5 ピーターは、いもうとの スージー
の へやを、そっと のぞいて みた。

6 おかあさんは、ゆりかごの まわり
で、大いそがし。

「あれ、ぼくの ゆりかごだったのに、
ピンクに ぬっちゃった。」

せのび
ビル
ガシヤン
いっぺん
生まれたて
スージー
のぞく
ゆりかご



11

犬の ウイリーは、ほねを くわえた。

をもつて いこう。」
 にと、赤ちゃんの ときの しゃしん
 「あの 青い いすと、おもちゃの わ

10

ーや 犬の えさを つめこんだ。
 ピーターは、かいものかごに、クツキ

9

「あれは、まだ、ぬつて ないぞ。」
 ピーターは、大ごえを あげた。
 ピーターは、その いすを もち上げ
 ると、じぶんの へやへ かけてった。

「いえ出しようや、ウイリー。」

ウイリー

もち上げる

犬。
 (犬犬犬)

つめこむ
 青い
 (青青青青青)



8

ちかくに、ピーターの ちっちゃい
 ときに すわった いすが あった。

7

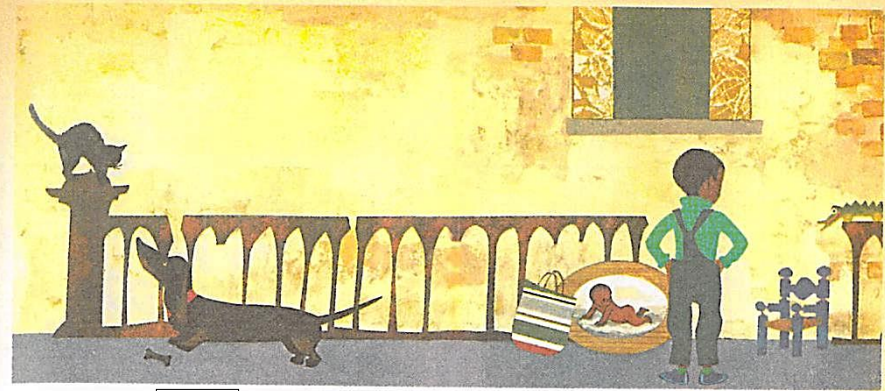
「あれ、ぼくの しょくどういすなのに
 なあ。」

おとうさんが そう いった。

「おい、ピーター、赤ちゃんの しょく
 どういすに ペンキ ぬるの てつだつ
 て くれんなあ。」

ペンキ

赤ちゃんベ
 ッド



12

ピーターと犬は おもてに 出て、

立っ
(立立立立立)

「ここが いいや。」

13

ピーターは、もちものを きちんと

きちんと

ならべ、しばらく、いすに すわって

14

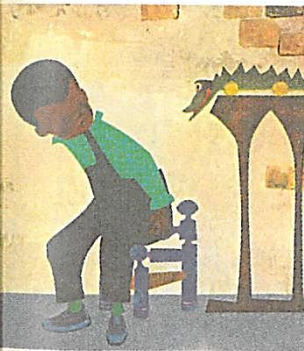
いる ことに した。

15

ピーターは、大

なりすぎる

きく なりすぎて



16

おかあさんが、

まどの ところに

きて、こえを か

こえを か
ける

けた。

「さあ、うちに

かえつといで、

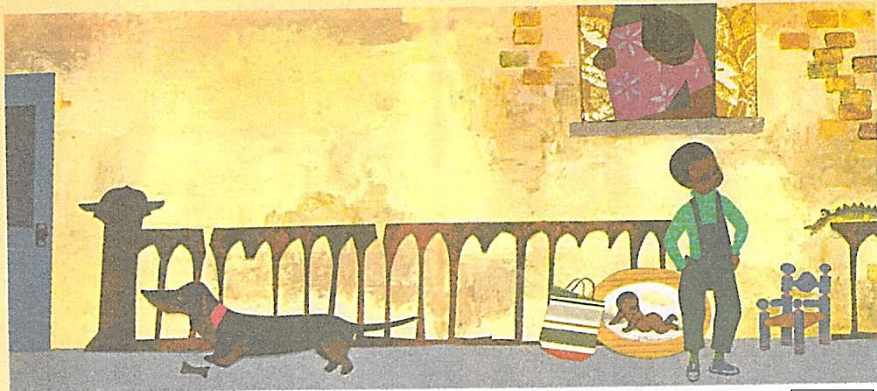
ピーター。おひ

17

るは、すてきな ごちそうですよ。」

ピーターと ウイリーは、しかし、き

こえない ふりを した。ピーターは、



18

しばらくすると、おかあさんは、ピーターがいえにかえって いるのが わかった。

「いたずらっこちゃん、カーテンの かげに かくれてるのね。」

おかあさんは、うれしそうに、そう いった。

5
カーテン



19

おかあさんは、カーテンをはねのけた。

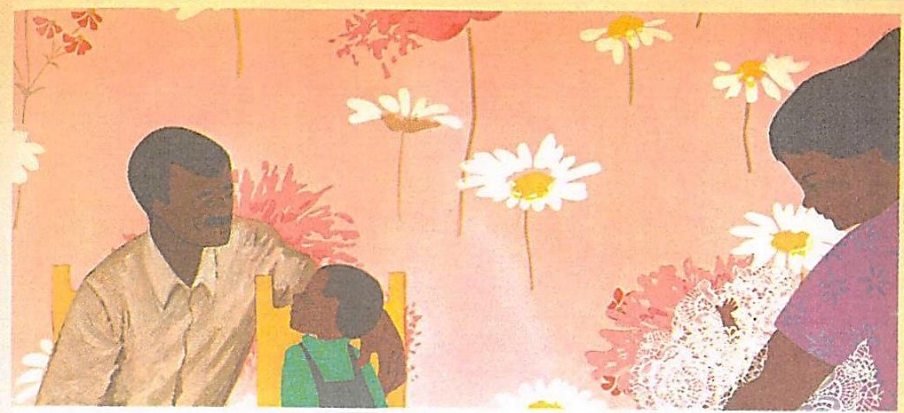
でも、おや、ピーターはいない。

「こっちだよ。」

と、ピーターの 大きな こえ。

5
はねのける





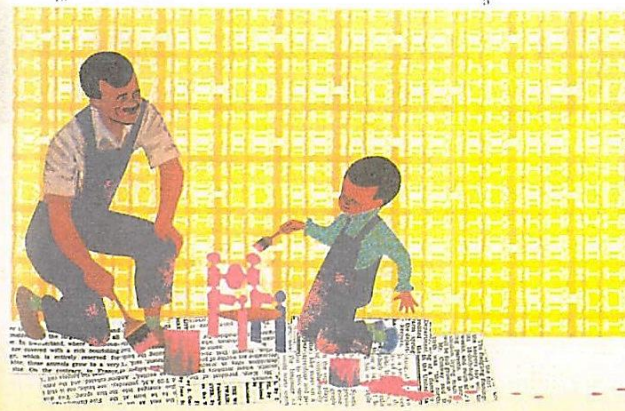
21

ピーターは、おとなの
いすにすわった。おとう
さんがそばにすわった。

「おとうさん、あのちっ
ちやないす、スージー
のためにピンクに
ぬろうよ。」

ピーターは、そういった。

22
それで、ふたりでぬっ
たんだ。



ピーターのいす

作 エズラ・ジャック・キーツ
訳 木島 始

しょうがくこくご 1下
(昭和60年 日本書籍株式会社) より